

## XI 新幹線鉄道振動の状況

### 1 新幹線鉄道振動の監視

振動については環境基準が設定されていないため、環境庁長官は運輸大臣に対し、「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について」（昭和51年3月12日環大特第32号）により、新幹線鉄道振動の指針値による対策を勧告している。

県内では、県、静岡市、浜松市、富士市が、新幹線鉄道振動に係る指針値の適合状況を確認するために、新幹線鉄道沿線地域において調査を実施している。

平成25年度に実施した調査の状況は、表XI-1のとおりである。

表XI-1 調査の実施状況

軌道中心からの距離	測定地点数				
	県	静岡市	浜松市	富士市	合計
12.5m	—	—	—	1	1
25m	2	—	2	1	5
50m	2	—	—	—	2

### 2 新幹線鉄道振動の指針値

「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について」（昭和51年3月12日環大特第32号）において、新幹線鉄道振動の指針値として70dBが示されている。

### 3 新幹線鉄道振動の調査結果

平成25年度調査においては、軌道から12.5mの調査では1地点のうち1地点、軌道から25mの調査では5地点のうち4地点、軌道から50mの調査では2地点のうち2地点で指針値に適合した。

表XI-2 新幹線鉄道振動に係る指針値の適合状況

No	測定地点	地点側の軌道(上下線別)	指針値(dB)	軌道から12.5m		軌道から25m		軌道から50m	
				評価値(dB)	適否	評価値(dB)	適否	評価値(dB)	適否
1	浜松市南区鶴見町	下	70	—	—	63	○	—	—
2	浜松市西区篠原町	下	70	—	—	70	○	—	—
3	富士市依田橋	上	70	—	—	71	×	59	○
4	富士市森島	下	70	—	—	55	○	49	○
5	富士市中之郷	上	70	68	○	62	○	—	—

(注) 指針値及び評価値は、列車ごとの最大振動レベルの平均値 ( $L_{Smax}$ 、単位デシベル(dB)) である。